



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社

上場取引所 東

コード番号 4404

URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 修

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 山下 史生

TEL 03-3603-1149

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	24,281	12.2	670	△51.0	684	△52.9	260	△74.8
22年12月期第2四半期	21,634	△1.4	1,369	—	1,453	—	1,032	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	2.53	—
22年12月期第2四半期	10.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	46,296	19,556	42.2	189.62
22年12月期	46,900	19,739	42.0	191.43

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 19,528百万円 22年12月期 19,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	3.00	3.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,300	5.0	1,050	△53.5	960	△56.3	420	△23.6	4.08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年12月期2Q	103,068,954株	22年12月期	103,068,954株
② 期末自己株式数	23年12月期2Q	81,077株	22年12月期	81,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年12月期2Q	102,987,877株	22年12月期2Q	102,988,866株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で減少していた生産に持ち直しの兆しがみられたものの、海外経済の景気回復が緩やかであることに加え、電力供給の制約による生産への影響が懸念され不透明な状況となりました。

当油脂加工業界におきましても、油脂原料価格が高騰を続けるなか、依然として消費者の低価格志向は根強く、さらに震災の影響で供給体制が不安定になるなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、市場ニーズを的確に捉えた製品開発と販売活動を推進するとともに、震災後の製品の安定供給に全力を挙げて取り組みました。また、販売価格の改定に努める一方で、生産体制の効率化、物流業務の合理化等の業務改善活動を推し進め利益の確保を図りましたが、油脂原料価格の高騰の影響を大きく受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高242億8千1百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益6億7千万円（前年同期比51.0%減）、経常利益6億8千4百万円（前年同期比52.9%減）、四半期純利益2億6千万円（前年同期比74.8%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

※ 第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しております。なお、前年同期との比較については、前第2四半期連結累計期間を新セグメントに組み替えた数値との比較であります。

（詳細は、【添付資料】P.10～12「セグメント情報」をご覧ください。）

① 食品事業

食品事業につきましては、主要需要先である製パン業界、製菓業界、即席麺業界向けマーガリン、ショートニングなどの主力製品の販売が緩やかに回復しておりましたが、震災の影響から節約志向が強まり、外食業界を中心に消費が減退するなど厳しい状況となりました。

このようななか、当社グループは、主力のマーガリン、ショートニングに加え、粉末油脂、乳加工食品等の重点商品の安定供給と販売に注力するとともに、油脂原料価格の高騰による価格改定に努めました。また、AIB食品安全統合基準に基づいた品質管理体制を継続するとともに、引き続き、製品の低トランス酸化に努めたことにより製パン市場において順調に売上を伸ばすことができました。しかしながら利益面では、油脂原料価格高騰の影響を受け減益となりました。

その結果、売上高は173億6千万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は4億3千1百万円（前年同期比57.9%減）となりました。

② 油化事業

油化事業の工業用油脂製品につきましては、主要需要先である界面活性剤、ゴム、潤滑油等の業界への脂肪酸やグリセリンの販売が、自動車関連業界および家電関連業界の景気回復と中国および東南アジアの良好な経済環境により好調に推移いたしました。

界面活性剤製品につきましては、震災の影響を受け、産業用界面活性剤が低迷を続けているなか、化粧品・トイレタリー分野におけるシャンプー基剤および化粧品原料基剤の販売が順調に推移いたしました。

環境改善関連製品につきましては、震災により廃棄物が増加した関係で飛灰用重金属処理剤の販売が増加しましたが、廃水用重金属処理剤につきましては、計画停電等の影響により減少いたしました。また、石化原料価格の急激な上昇に伴い、価格改定を実施し収益確保を図りましたが減益となりました。

その結果、売上高は68億2千9百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は2億5百万円（前年同期比34.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

前連結会計年度末に比べ、当第2四半期連結会計期間末の総資産は6億4百万円減少し、純資産は1億8千3百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は42.2%、1株当たり純資産は189円62銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億9千4百万円増加し、58億3千8百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られた資金は、11億4千9百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益4億6千2百万円に、減価償却費の加算7億3千2百万円、仕入債務の増加4億9千1百万円およびその他の増加2億7千3百万円等による資金の増加があった一方、法人税等の支払7億7千5百万円等による資金の減少があったことによるものです。

投資活動の結果、8千5百万円の資金の減少となりました。これは、主に有価証券の償還5億円等による資金の増加があった一方、有形固定資産の取得5億7千2百万円等による資金の減少があったことによるものです。

財務活動の結果、8億7千万円の資金の減少となりました。これは、主に長期借入金の返済5億5千7百万円、配当金の支払3億9百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は消費の弱さを背景にした一層の競争激化と油脂原料をはじめとする各種原材料価格の上昇が懸念され厳しい状況で推移すると思われまます。

平成23年12月期の業績予想につきましては、平成23年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は、51百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,838	5,644
受取手形及び売掛金	12,562	12,672
有価証券	—	500
商品及び製品	2,146	2,035
仕掛品	668	523
原材料及び貯蔵品	1,670	1,734
その他	210	255
貸倒引当金	△11	△17
流動資産合計	23,084	23,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,860	5,013
機械装置及び運搬具（純額）	3,179	3,389
土地	4,548	4,548
その他（純額）	610	392
有形固定資産合計	13,199	13,343
無形固定資産		
その他	276	315
無形固定資産合計	276	315
投資その他の資産		
投資有価証券	6,685	6,874
その他	3,083	3,053
貸倒引当金	△32	△36
投資その他の資産合計	9,736	9,891
固定資産合計	23,211	23,550
資産合計	46,296	46,900

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,732	9,241
短期借入金	2,975	2,975
1年内返済予定の長期借入金	931	1,056
未払法人税等	139	808
引当金	72	9
その他	2,112	1,906
流動負債合計	15,963	15,997
固定負債		
長期借入金	5,751	6,183
退職給付引当金	2,780	2,831
役員退職慰労引当金	539	520
訴訟損失引当金	1,442	1,412
その他	262	215
固定負債合計	10,776	11,163
負債合計	26,740	27,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	4,744	4,793
自己株式	△22	△22
株主資本合計	19,229	19,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	299	437
評価・換算差額等合計	299	437
少数株主持分	27	24
純資産合計	19,556	19,739
負債純資産合計	46,296	46,900

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	21,634	24,281
売上原価	17,226	20,541
売上総利益	4,408	3,740
販売費及び一般管理費	3,038	3,069
営業利益	1,369	670
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	72	86
持分法による投資利益	119	21
その他	65	48
営業外収益合計	262	160
営業外費用		
支払利息	147	128
その他	30	19
営業外費用合計	178	147
経常利益	1,453	684
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	6
投資有価証券売却益	33	2
その他	4	0
特別利益合計	38	9
特別損失		
有形固定資産除却損	9	11
災害による損失	—	135
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	51
訴訟損失引当金繰入額	—	29
その他	0	3
特別損失合計	9	231
税金等調整前四半期純利益	1,481	462
法人税、住民税及び事業税	441	115
法人税等調整額	4	82
法人税等合計	445	198
少数株主損益調整前四半期純利益	—	263
少数株主利益	3	3
四半期純利益	1,032	260

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,163	12,858
売上原価	8,895	10,994
売上総利益	2,268	1,864
販売費及び一般管理費	1,547	1,519
営業利益	721	345
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	49	53
持分法による投資利益	43	1
その他	44	31
営業外収益合計	139	88
営業外費用		
支払利息	80	70
その他	21	12
営業外費用合計	102	82
経常利益	758	350
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	0
その他	0	0
特別利益合計	3	1
特別損失		
有形固定資産除却損	5	3
災害による損失	—	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5
訴訟損失引当金繰入額	—	14
特別損失合計	5	46
税金等調整前四半期純利益	755	305
法人税、住民税及び事業税	269	100
法人税等調整額	△47	13
法人税等合計	222	113
少数株主損益調整前四半期純利益	—	192
少数株主利益	2	1
四半期純利益	530	190

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,481	462
減価償却費	804	732
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△47	△51
災害損失	—	135
受取利息及び受取配当金	△76	△91
支払利息	147	128
持分法による投資損益(△は益)	△119	△21
投資有価証券売却損益(△は益)	△33	△2
売上債権の増減額(△は増加)	1,761	110
たな卸資産の増減額(△は増加)	△237	△191
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,455	491
その他	261	273
小計	2,487	1,976
利息及び配当金の受取額	87	102
利息の支払額	△151	△129
災害損失の支払額	—	△24
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	9	△775
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,432	1,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,299	—
有価証券の償還による収入	799	500
投資有価証券の取得による支出	△148	—
投資有価証券の売却による収入	58	—
有形固定資産の取得による支出	△180	△572
その他	△12	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△552	△557
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	—
配当金の支払額	△309	△309
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665	△870
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	985	194
現金及び現金同等物の期首残高	6,324	5,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,309	5,838

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品のマーケット分野別に区分した「食品事業」「油化事業」ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社では、「食品事業」「油化事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

- (1) 食品事業…マーガリン、ショートニング、ラード、粉末油脂、ホイップクリーム、その他食用加工油脂
- (2) 油化事業…脂肪酸、グリセリン、工業用石鹼、その他工業用油脂、繊維用処理剤、消泡剤、化粧品原料、重金属捕集剤、重金属固定剤、その他各種界面活性剤

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,360	6,829	24,189	92	24,281	—	24,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	—	8	69	78	△78	—
計	17,368	6,829	24,197	162	24,359	△78	24,281
セグメント利益	431	205	636	34	670	—	670

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,325	3,480	12,805	53	12,858	—	12,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	34	37	△37	—
計	9,327	3,480	12,808	88	12,896	△37	12,858
セグメント利益	301	31	333	11	345	—	345

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

前第2四半期連結累計期間、前第2四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント情報を、当第2四半期連結累計期間、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントに組み替えると以下のとおりとなります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,035	5,522	21,558	75	21,634	—	21,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	69	84	△84	—
計	16,050	5,522	21,573	145	21,718	△84	21,634
セグメント利益	1,025	315	1,340	29	1,369	—	1,369

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,299	2,825	11,125	38	11,163	—	11,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	8	34	43	△43	—
計	8,307	2,825	11,133	73	11,206	△43	11,163
セグメント利益	571	141	712	8	721	—	721

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。